

進捗状況報告シート

(2010年度・大学)

担当部局は☆印の箇所を記入のこと。

I. 評価項目・要素と担当部局

対象部局	統括部局：学長室	担当部局：学長室
大項目	5 学生の受け入れ（研究科）《全学的な視点》	
中項目		
小項目	5.0.1 学生の受け入れ方針を明示しているか。	
要素	求める学生像の明示 当該課程に入学するにあたり、修得しておくべき知識等の内容・水準の明示 障がいのある学生の受け入れ方針	
小項目	5.0.2 学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に学生募集および入学者選抜を行っているか。	
要素	学生募集方法、入学者選抜方法の適切性 入学者選抜において透明性を確保するための措置の適切性	
小項目	5.0.3 適切な定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。	
要素	収容定員に対する在籍学生数比率の適切性 定員に対する在籍学生数の過剰・未充足に関する対応	
小項目	5.0.4 学生募集および入学者選抜は、学生の受け入れ方針に基づき、公正かつ適切に実施されているかについて、定期的に検証を行っているか。	
要素		

II. 自己点検・評価《進捗状況報告》

【現状の説明】

《目標・指標》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定した。

目標の進捗状況は「A:適切に実行している」「B:概ね実行している」「C:必ずしも実行していない」「D:実行していない」とし、自ら評価した。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
1. 各課程、専攻において、入学前に修得しておくべき知識等の内容・水準を明確にする。	→学生の受け入れ方針の策定	C
2. 各研究科、課程、専攻において「求める学生像」を志願者に明示する。	→学生の受け入れ方針の入試要項等での公表	B
3. 研究科(専攻)の特色を活かし、入試形態に応じた広報展開を行う。	→入試説明会の回数・参加者数、広報媒体の種類	C
4. 入試動向に応じ選抜方法を定期的に検証し、適正な定員管理を行う。	→入試種別ごとの志願者数、合格者数、入学者数	C

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗評価
	→	☆
	→	☆

《小項目ごとの現状説明》 ※ 全小項目について記述が必要

☆ 小項目5.0.1	(方針) 中教審において大学院教育の体系的実施・人材養成目的等の明示、入学者選抜と人材養成目的との整合性が大きく取り上げられており、大学院におけるアドミッションポリシーの明示とそれに基づいた適切な入学者選抜を行う必要がある。 (現状説明) 各研究科においてホームページ、入試要項で学生の受け入れ方針を明示している。またいくつかの研究科においては当該研究科に入学するにあたっての修得しておくべき知識等を入試要項に明示している。障がい学生の受け入れ方針については全学体制による受け入れ方針を持っている。
☆ 小項目5.0.2	(現状説明) 各研究科において、一般、社会人、留学生など多様な募集方法を明示し、それぞれに合った選抜方法を持っている。実際の選抜方法においてもその実施内容、過去問題等を公表し、透明性の確保に努めている。
☆ 小項目5.0.3	(現状説明) 定員を充足している研究科は博士課程前期課程13研究科中、2研究科で同後期課程12研究科中4研究科である。
☆ 小項目5.0.4	(現状説明) 各研究科委員会・教授会において公正かつ適切に入学者選抜を実施している。また各研究科において公正かつ適切な学生募集、入学者選抜の検証を実施している。
☆ その他	

《特定6項目データ》

本項目は数量的なデータによる評価(現状分析)が可能のため、次のとおり指標を定め経年比較している。

【全研究科】		前期/後期課程	単位	2006	2007	2008	2009	2010	備考
指標1	入学者に占める一般入試入学者の比率	前期課程	%	46.1%	54.6%	49.8%	46.4%	54.3%	一般入試入学者数÷入学者数
		後期課程		65.5%	65.5%	62.0%	82.0%	58.2%	
指標2	志願者総数	前期課程	人	504	413	440	418	444	
		後期課程		75	69	64	79	66	
指標3	志願者倍率	前期課程	倍	126.0%	103.3%	109.5%	100.0%	106.2%	志願者÷入学定員
		後期課程		98.7%	90.8%	79.0%	100.0%	89.3%	

注) 指標2, 3について入学定員の変更あり
2005年度前期課程340名、後期課程67名、2006年度前期課程400名、後期課程76名、2007年度前期課程400名、後期課程76名、2008年度前期課程402名、後期課程81名

◎効果が上がっている事項

【点検・評価 (1)】効果が上がっている事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



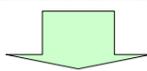
【次年度に向けた方策(1)】伸長させるための方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎改善すべき事項

【点検・評価 (2)】改善すべき事項

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	



【次年度に向けた方策(2)】改善方策

小項目5.0.1	
小項目5.0.2	
★ 小項目5.0.3	
小項目5.0.4	
その他	

◎自由記述

【点検・評価】&【次年度に向けた方策】

★ その他
(自由記述)

Ⅲ. 学内第三者評価

<評価推進委員会からの評価> (実務作業は評価専門委員会、評価情報分析室、企画室)

【学外委員】

○全般的に学部と比較して進捗評価が低いですが、その理由は何でしょうか。
 ○最大の課題は、国立大学が法人化に伴い、大学院を強化していることに伴う影響であると考えられます。特に修士課程の定員充足率が低い研究科(6割を切っている法学研究科0.40、経済学研究科0.53、総合政策研究科0.40、教育学研究科0.50)を中心に抜本的な検討が望まれます。

【学内委員】

○アドミッション・ポリシーに関し今一度悉皆的にレベルが揃っているか、必要な情報がHP上に公表されているかの調査をお願いします。

○受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)はどのようなものとするのか、現在のもので十分なのか、絶えず検討・議論が必要でしょう。現在明示されていない「修得しておくべき知識等の内容・水準」など、検討課題があると考えられます。

○恒常的に定員未充足の研究科に対し、どのような方針で臨むのかの検討も必要ではと思われま。

○自己点検・評価は、本学の状況や考え方を社会にわかりやすく説明する役割もあります。また、認証評価につなげることも視野に置く必要があります。加えて、本シートを見ればある程度のことわかる必要があります。そのためにも、全小項目についてもう少し詳しく現状説明されることを希望します。

○小項目5.0.1の現状説明において、(方針)として必要性について記述されていますが、ここは全研究科としての受け入れ方針そのものを記載してください。また、各研究科それぞれで受け入れ方針を持っている旨の説明とどこを見ればわかるのかを明示してください。

○障がいのある学生の受け入れは、先駆的な関西学院として、重要な方針です。簡潔に方針を記述してください。

○「学生の受け入れ方針については、学校教育法施行規則等の一部を改正する省令の施行」に留意し、遺漏のないよう対応されたい。

○目標の現状や達成状況について現状説明で触れてください。それぞれの小項目で説明が可能で、現状説明がより一層わかりやすいものとなります。

○定員未充足への対応について、現状説明に記述があるのがよいと思います。

○特定6項目データを明示しています。この説明を簡潔にしてくださいことで現状説明も有効なものとなります。

○小項目5.0.3の現状説明において、定員を満たしている研究科が少ないとの記述がありながら、改善すべき事項での記述がないのはどうしてでしょうか。

○大学院の学生受け入れについては課題が多くあるように思いますし、目標の進捗もAではない現状です。改善すべき事項に記載がないことでよいのでしょうか。

○大学基準協会の「評価に際し留意すべき事項」(ハンドブックP78～)に留意してください。ここで示されていることについて現状説明していくことも基準の自己チェックにもなり有効です。基準に達していない場合は、必ず記述してください。

Ⅳ. 学内第三者評価の評価結果を受けての追加記述

★ なし

Ⅴ. 本項目の評価指標

<全学的な指標>

5.0.0.S1	学生の多様性の確保—入試形態数と入試形態別入学者の割合
5.0.0.S2	各学部の募集人員のうち、一般入試(センター利用入試を含む)の割合
5.0.0.S3	地域別入試会場別志願者数、受験者数、合格者数、入学者数
5.0.0.S4	入試講評(問題と正解、正答率とそのコメント)の公表とその頒布数
5.0.0.S5	AO入試の受験者数と入学者数
5.0.0.S6	社会人学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S7	専門職大学院(KGPS)の受験者数および入学者数
5.0.0.S8	科目等履修生(教職免許状および博物館学芸員資格取得を含む)の入学者数
5.0.0.S9	聴講生の入学者数
5.0.0.S10	留学生数(学部別、研究科別)
5.0.0.S11	国別留学生数(学部別、研究科別)の経年変化
5.0.0.S12	学部における収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S13	学部における入学定員に対する入学者比率
5.0.0.S14	編入学定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S15	博士課程前期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S16	博士課程後期課程における、研究科ごとの収容定員に対する在籍学生数比率
5.0.0.S17	学部・学科の退学者数
5.0.0.S18	学部・学科の編入学者数

<個別的な指標>
